

第5回一宮町地域公共交通活性化協議会議事録概要

1 日 時 平成21年8月3日(月)13時30分から15時30分

2 場 所 一宮町保健センター3階多目的室

3 出席者 別紙出席者名簿のとおり

4 配布資料 ・一宮町地域公共交通活性化協議会 会議次第
・一宮町地域公共交通活性化協議会 第5回協議会資料
・別紙 住民アンケート票(イメージ)

5 議事の経過

事務局長 (挨拶)

会長 (挨拶)

今回の協議会から、前回の協議会で選定しましたトーニチコンサルタント(以下トーニチ)にも協議会に参加していただきます。それでは会議次第にそって、まず実施計画書について、トーニチコンサルタントより説明をお願い致します。

トーニチ (実施計画書の説明)

石尾委員 住民説明会に関する説明をしていただきたい。1回では少なく、アンケート実施中に住民への説明がないと、計画がまとまってからの説明のみだと非常に反発を買う恐れがあると思います。

トーニチ 住民説明会は、2月中旬を予定しております。

会長 2月の1回の説明だけでなく、計画がまとまる前に住民への説明が必要であるということでしょうか。

石尾委員 具体的には、9月、12月、2月に1度、3回が多ければ9月と2月に1度です。

会長 観光客アンケートの調査場所について、現在東浪見海水浴場は閉鎖されています。また、一宮町には海水浴場以外にも玉前神社や洞庭湖などの観光施設が存在しているので、観光客アンケートでは海水浴場以外の場所も考慮できればいただきたい。

- 石尾委員 観光客アンケートの調査日数について、日曜日の1日となっているが、宿泊する観光客も考慮すると土日連続で行い、それを2週続けていただきたい。また、調査時間も8時から18時では短いと思います。サンプル数も少ないと感じるので、サーブショップ全部を対象とすることや、9月13日の玉前神社の祭りの前後にも調査するなどの対応をしていただきたい。駅利用者アンケートの日数に関しても、土日出勤する方もいるため、平日1日ではなく、少なくとも平日2日から3日とし、全体の意見を把握できる調査方法にしていきたい。これに従い、目標サンプル数も2倍から3倍になると思います。また、住民アンケートの配布数2,000世帯は少なく、前回協議会での企画提案では2,000世帯であったとしても、協議会の意見を踏まえながら内容を変更していただきたい。
- 川上委員 観光客アンケートの調査場所について、最近、一宮町では芥川龍之介関連の施設に団塊世代の観光客が多く訪れており、雑誌にも取り上げられているので、海以外の観光施設も考慮していただきたい。駅利用者アンケートについて、調査開始時間が7時となっていますが、これでは遅いと思います。東京方面へ通勤する方々が駅を利用する時間を考えると、開始時刻は6時、最低でも6時半が好ましいと思います。
- 白井委員 駅利用者アンケートの調査時間を7時から15時に設定した理由を説明してください。
- 事務局 資料に記載した15時は誤植であり19時の間違いです。朝時間帯の通勤客は、アンケートに回答する余裕がないため、駅に到着する利用者を対象にして、調査時間を設定いたしました。
- 白井委員 駅利用者アンケートの方法について、朝アンケート票を渡して夜に回収する方法はどうでしょうか。
- 石尾委員 夜は23時までが好ましいと思います。
- 川上委員 東京勤務の方は、22時東京発の特急を利用しています。
- 会長 白井委員の意見はよいと思います。夜の帰りも送迎などで時間がないと考えられるので、朝の電車に乗車している時間を活用していただけたらと思いますので、検討していただきたい。
- 佐藤委員 アンケートを実施する前に、住民に対して告知をする必要があるのではないのでしょうか。

- 会長 町と協力して、何のためのアンケートなのかの告知を行なってください。また、観光客アンケートについては、夏の海水浴シーズンだけでなく秋頃も考慮して、2回に分けて調査をしてください。他にご意見等無いようでしたら、続いて(2)アンケート実施計画について説明いただき、アンケート票の中身について議論していきます。
- ト一ニチ (アンケート実施計画の説明)
- 川上委員 一般的にアンケートの回収率が3%~5%だが、今回の回収率を25%と設定した根拠を説明してください。また、住民アンケートの対象が高校生以上となっていますが、バスが運行していない一宮町のエリアでは、小学生の通学は親が手分けして送迎をしているのが現状であり、このような現状を把握するためにも小学生の通学に関する項目を追加していただきたい。
- ト一ニチ アンケートの回収率に関しては、過去の地域公共交通に関する調査の実績から、概ね25%~30%の回収率があったことから、今回の調査での回収率を25%と設定いたしました。通学に関しては、小学生の通学に危機感を覚えている地区があり、調査が必要ということであれば、アンケートに追加していきたい。
- 石尾委員 この住民アンケートは、一宮町地域公共交通活性化協議会の名前で配布されるということによろしいでしょうか。
- 会長 協議会と町の連名で、配布されることになるでしょう。
- 石尾委員 このアンケートは、町の意向を持って実施しなければならないため、繊細に内容を練らなければならないと思います。例えば、P.8にある調査項目に関して、公共交通を利用できない住民、現在利用していないが公共交通に転換する可能性のある住民は、このアンケート票で検証できるのでしょうか。この町では、自家用車を乗っている人がほとんどであり、さほど不便を感じていないと思います。そういう住民が、自動車利用を止めて公共交通へ転換してこそ、公共交通が発達すると思います。こういった内容がほとんど見当たらないのですが。
- 齋藤委員 車から公共交通への転換に関しては、通勤で車を利用している人の実態を把握する必要があると思います。また、そのような家庭では通勤のために車を一台犠牲にしているが、そのためにどのくらいの費用をかけているのかを把握することも調査対象となるのではないかと。

- 石尾委員 駐車場利用と駅までの送迎についての項目もありません。
- 久我委員 P.34 の路線バスの一日平均利用者数の値は、どの資料を参考にしたものか。
- トーニチ この値は、一宮町が算出した実績値であり、1往復あたりの利用者数を示しております。
- 奈良委員 アンケートの配布者名に関しては、協議会の名前でやっていただき、町は一切関係ありません。
- 久我委員 路線バスは、通学利用者のために走らせているのが現状です。したがって、P.5の6.のように一般利用者を対象に路線バスについて質問するのはおかしいと思います。
路線バスについては、どの地区の町民がどういうバスを望んでいるかを把握できる調査項目にしてみてもどうでしょうか。
また、観光と絡めるのは難しいという印象を持っています。一度駅から海岸まで運行しましたが、ホテルなどの送迎バスにより誰も乗らない状況でした。
- 石尾委員 アンケートの趣旨は、現状把握か、それとも一宮町の将来像のどちらでしょうか。このアンケート票では現状把握に偏っており、将来像についてしっかり質問すべきであると思います。
- トーニチ 現状把握に重きを置いて、アンケート票を設計しております。
- 齋藤委員 言葉遣いが非常に難しく、回収率を確保するためには分かりやすい表現に変更すべきです。特にP.7(2)の聞き方は危険であり、この質問は、サービスの内容が提示されてから質問すべき項目であると思います。
- 石尾委員 P.7(2)の聞き方をすると、公共交通に対して税金負担をするという意向が住民に伝わってしまい、危険と感じます。
- 会長 齋藤委員と石尾委員と同じ意見であり、この設問は提供されるサービスとその収支とのバランスによるものですので、危険と感じます。8.に関しては、巡回バスやデマンド交通などのより具体的なサービスの意向を聞いてもよいと思います。
- 石尾委員 駐車場の利用料金や駐車場の容量、路線バスについては路線時間を質問する項目が必要であると思います。
- 小松委員 路線バスの運賃に関しても尋ねてみてはどうでしょうか。
- 齋藤委員 質問の仕方が難しく、現状を尋ねるのに「選択をしてください」と聞くのはおかしいと思います。言葉遣いをとにかく分かりやすくしていただきたい。

- 石尾委員 この質問の仕方だと、将来の希望を書いてください、と読まれてしまうかもしれません。
- トーニチ 現状をお答えください、という質問の聞き方に修正いたします。
- 川上委員 7 . のにここサービスについて、知らない人がいると想定しているのであれば、このサービスの内容を具体的に説明していただきたい。先ほど通勤者の駐車場利用や実態に関する項目については、この後の駅利用者アンケートで聞いてみてはどうでしょうか。また、これに関連して、アンケートの配布方法として駐車場に停めている車のワイパーにアンケート票を挟むのはいかがでしょうか。
- トーニチ 将来の展望に関しては、ある程度検討が進んだ段階で住民にお出しするのが望ましいと考えたため、今回のアンケート票（案）では意見・要望を自由に記述してもらおう形にしています。将来の展望に関しては、パブリックコメントや住民説明会でお聞きすることができると思います。
- 石尾委員 今回は、現状把握をするアンケートとして、別途、将来の展望を尋ねることをしなければいけないと思います。
- 川上委員 そうであれば、アンケート結果を住民に報告するべきではないでしょうか。
- 佐藤委員 まちの将来を構築していくために、どのようなスケジュールを組めばよいのかを頭に入れて、調査を実施していただきたい。
- 石尾委員 現状把握と将来の展望を尋ねるには、同じような質問で聞いたほうがよいと思います。
- 会長 様々な修正意見が出てきましたが、もう一度修正し提案してほしい、とのことですが、事務局のご意見はどうでしょうか。
- 事務局 この協議会の場で、1つ1つをこの場で解決をしていただきたい。
- 久我委員 1 . から5 . までは、問題ないのではないのでしょうか。6 . は路線バスが走っていないので、この質問は疑問です。文言の修正は必要と思います。
- 会長 アンケート票の修正に関しては、にここサービスの担当部署との調整もございますので、本日のご意見の趣旨を踏まえて、事務局に一任してもよろしいでしょうか。修正したものは、再度委員のみなさんにお見せするように取り計らいます。
- 久我委員 このアンケート調査の目的は、公共交通の必要性を現状把握から聞き出すことですよね。

- 石尾委員 現状把握から公共交通の必要性は、聞き出すことはできないと思います。
- 小松委員 バスを走らせるために、この協議会は存在しているという認識でよろしいのでしょうか。
- 久我委員 この協議会は、バスを走らせるためではなく、公共交通が必要であるかないかを判断する場であると思います。住民が、公共交通は必要ないと判断することも十分に考えられます。
- 川上委員 現状把握の質問項目の中で、困っている人たちが、なんで困っているかを聞く項目を追加していただきたい。自由記述ではなく、選択肢を設けるなどの工夫をしていただきたい。
- 会長 酒々井町では、事前の利用登録を必要とするデマンド交通を運行しているが、現在の利用者数が利用登録数を下回っている状況にあります。これは、登録した人たちが高齢化した時のために登録を行なっていると解釈できます。このことから、このアンケート調査では、10年20年後の将来の意向を聞けるように配慮していただきたい。では、駅利用者アンケート、観光客アンケート、宿泊業者アンケートに関して、ご意見はありますか。
- 石尾委員 P.22 1.6)に関して、一宮町内に限定する必要はないのではないのでしょうか。一宮町周辺での来訪予定地を尋ねるほうがよいと思います。一宮町に限定する必要はないと思います。調査日に関しては、8月9月うちの土日、4週、難しいのであれば2週はやっていただきたいと思います。また、今月の8日には月見の宴が開催され、別の日に漁港でもプロレスのイベントがあるので、海水浴客以外にも対象とした調査を行なっていただきたい。イベントや曜日を考慮し、調査日を設定していただきたい。
- 奈良委員 この観光客アンケートは、公共交通活性化のために行なうものですから、単発的なイベントで来訪した方を対象とするのではなく、常に人が集まる場所で実施したほうが好ましいと思います。
- 石尾委員 巡回バスを走らせた場合、単発的なイベントのために違う路線を運行することも考えられるので、単発的なイベントで来訪した方の流動も把握することは重要だと考えます。
- 森田委員 イベント毎に必ずバスを走らせることになると、イベントに漏れがあった場合どのように対処するのでしょうか。

- 小松委員 イベントの主催者側と町が連携し、巡回バス運行の要望を出せばよいと思います。最近、サーフィンのイベントなどでバスを走らせてほしいという要望がよく聞かれます。
- 久我委員 駐車場からイベント開催地までのシャトル運行なら可能性はあります。
- 志田委員 この協議会の目的は、住民の足を考えるのが重要であると思うので、その議論から外れないようにしていただきたい。
- 齋藤委員 P.22 3 . 3) の聞き方に注意をしていただきたい。
- 小松委員 3 . の部分では、バスの利用意向や望ましいものは何かを尋ねてみてはいかがでしょうか。
- 川上委員 観光客へのアンケートでは、現状把握だけでなく、意向も尋ねるといことでよろしいでしょうか。
- トーニチ 齋藤委員、小松委員のご意見を参考にアンケート票を修正していきたいと考えております。観光客へのアンケートのねらいとして、どんな公共交通が望ましいのか、生活交通とどのように結びつけることができるのか、また両立する手段があるのかを、検討できればと考えております。
- 奈良委員 再確認ですが、この協議会では1年目で調査事業をやり、翌年度以降から3年間で実証運行をやる場合はやるということになっています。事業費に関しては、国が1/2、協議会（恐らく町）が1/2を負担することになりますので、お客さんの利用者数と財政とのバランスを見ながら、巡回バスやデマンド交通を検討していくことになります。従ってこの協議会は、バスありきの議論を行なう場ではないこと、そして「みんなが公共交通を利用しないと存続しない」ということを町民に意識付ける役割を担っていることを踏まえて、今後委員のみなさまで議論をしていただきたい。
- 川上委員 いすみ市では1路線だけ黒字の路線がありますが、例えば一宮町で運行した場合に、赤字路線と黒字路線が存在し、収支はとんととなった場合はどう判断すればよいのでしょうか。
- 奈良委員 この協議会で判断するとともに、住民への説明も必要となるでしょう。
- 会長 こういった公共交通を町が負担することになると、最終的に議会を通すことになるため、そこで住民の意見が反映されることになります。

- 石尾委員 この協議会では、住民の皆さんが乗りたくなるような運行時間や運行経路なども追及していくことでよろしいでしょうか。
- 奈良委員 その通りです。そして、この協議会や自治体から住民の皆さんへ、公共交通をもっと利用しましょう、と発信していくことも大事だと思います。
- 小松委員 観光客向けの交通で採算が取れたとき、住民の生活の足を守ることもできます。
- 川上委員 いすみ市では昔から大原に出ずに茂原に出ていた経緯があり、茂原へ行く公共交通が運行したことによって、利用者が大変多くなっています。以前自家用車を利用していた人は、駐車場料金を支払わずに済み、特急や快速列車との接続も考慮されているので大変便利です。この協議会でも、このようなことを検討する必要があると思います。
- 小松委員 黒字を出せば、生活の足を守ることができますね。
- 会長 アンケートの実施方法やアンケート票の修正に関しては、今回の協議会の議論を踏まえ、事務局と協議の上で行なっていただきます。修正したアンケート票は、委員に事前に配布することにします。また、他にご意見がある方は、事務局にお知らせください。
- 川上委員 住民アンケートのアンケート票の「前書き」も準備していただきたい。
- 志田委員 住民説明会は、パブリックコメントの前に実施していただきたい。
- 事務局 修正したアンケート票はみなさんにお配りいたします。またその修正案に意見がある方は、その人から意見を聞き、再度修正案をみなさんにお配りいたします。
- 川上委員 このアンケート票の修正は、住民アンケートの修正でよろしいのでしょうか。
- 事務局 その通りです。住民アンケートに関しては、皆様にアンケート票の修正案をお配りいたします。観光客へのアンケートについては、海水浴客対象と玉前神社で実施するものと、2回に分けて実施いたします。8月9日に海水浴客対象の観光客アンケートを実施してもよろしいでしょうか。
- 一同 (異議なし)
- 複数委員 あまり難しい表現は避けたほうがよいでしょう。

- 久我委員 以前、アンケート票に鉛筆を付けて、記入後に段ボール箱で回収する方法があったので、この方法を採用してみてもどうでしょうか。
- トーニチ そちらの方法に関しては、駅利用者アンケートでの採用を検討していきたいと思います。
- 久我委員 その方法であれば、調査時間も短くて済みます。
- 小松委員 その代わり、何日か行なっていただければよいと思います。
- 事務局長 参考として、総合計画や合併賛否で実施した郵送でのアンケート調査では、平均で50%の回収率がありました。
- 小松委員 アンケート票では、選択する項目だけでなく、意見を取り入れることができる自由記述欄があればよいと思います。
- 会長 他にご意見等ないようでしたらこれにて本日の協議会は終了とさせていただきます。どうもありがとうございました。